

御所見通信

2018年5月31日

6月号

藤沢市立御所見小学校

校長 三橋 雅幸

あいさつの魔法

“あいさつの魔法”とは、ACジャパンによる2010年度全国キャンペーン企画として制作された公共広告アニメーションCMのタイトルです。「こんにちは」(こんにちワン)、「ありがとう」(ありがとウサギ)、「こんばんは」(こんばんワニ)、「さようなら」(さよなライオン)…と、男の子と女の子があいさつをするたびに動物が出てくるCMです。CMの最後は、「魔法の言葉で 楽しい仲間が ポポポーン」で終わっています。東日本大震災直後、ACジャパンのCMがたくさん流れていたのも、記憶にある方もいらっしゃると思います。

「挨拶」という漢字の「挨」は心を開くとか接近する、「拶」はせまるとか近づくという意味だそうです。つまり「挨拶」は「心を開いて相手に迫ること」となります。だから、あいさつは自分から先にするものなのです。

あいさつの効果はいろいろ言われていますが、あいさつをされて嫌な人は少ないと思います。朝、大きな声を出すことで気持ちがいい人も少なくないと思います。また、「おはようございます」と元気にあいさつをしている人は、ほとんどが笑顔です。元気にあいさつをすると自然と笑顔が増えてきます。あいさつをすることで、相手にとっても、自分にとってもよいことがたくさんあります。あいさつをきっかけに、人と人はつながることができるのです。

入学式で、1年生に対して大切にしたいことの1番目に「えがおであいさつ」をあげました。朝、知っている人に会ったら、自分から元気にあいさつのできる子どもでいて欲しいです。先生、友だち、近所の人はもちろん、毎日通って顔見知りの人、腕章や横断旗を持っている人には、自分から進んであいさつしてもらいたいのです。また、笑顔であいさつができる落ち着いた心の状態で家を出してもらえると助かります。

「おはようございます」だけでなく、日本語には、その場に合ったあいさつがあります。どの子ども状況に合った的確なあいさつができる大人に育って欲しいと願っています。あいさつは魔法の言葉です。

いちょうの木を
写生する4年生→

